

はじめに

農業は、国民生活に不可欠な食料を供給する機能等を有しており、また、農村は、農業の持続的な発展の基盤たる役割を果たしています。

その一方で、農業・農村は、人口減少に伴う国内市場の縮小や生産者の減少・高齢化等の問題に直面しています。このため、若い世代の方々に農業を身近に感じてもらい、農業が次世代の人達に引き継がれるように、意欲と誇りを持って活躍できる魅力ある産業とすることが必要です。

令和6年12月24日に「新しい地方経済・生活環境創生本部」において決定された地方創生2.0の基本的な考え方では、児童・生徒や学生が、地方創生の観点から我が町の魅力を発見し、将来を考え、行動できる能力を重視する教育・人づくりを行うこととし、知識や能力だけでなく、歴史や文化、地域や周りの人々を大切にし、行動する力を有した人材や、大学や農業・工業高校等における観光等の地域の魅力やニーズを捉えた産業やサービスを支える人材を育成することとしています。

当拠点では、那須拓陽高等学校の課外活動（部活動）のクラブである「牛部」の生徒との意見交換をきっかけに、平成29年度から農業関係高校等と連携して、就農意欲を喚起する取り組みを開始し、県内の農業関係高校等の取り組みを「百花繚乱」として毎年発行しています。本誌のタイトルである「百花繚乱」の意味には、「いろいろの花が咲みだれること」「すぐれた人物や業績などが一時に多くでること」と辞書に書かれています。このような思いを込め、本冊子では、実践的な学習により豊かな人間性と基礎的な知識・技術を習得し、進路実現に向けて果敢にチャレンジしている栃木県内の農業関係高校生等の取り組みを紹介しています。

本冊子が、農業関係者をはじめ消費者や流通・加工業者、小売業者、教育関係者、また、中学生など幅広い方々の目に触れ、農業関係高校等の取り組みへの理解が深められ、更には、一人でも多くの若者が意欲を持って農業を学び新規就農の契機となれば幸いです。

最後に、本冊子の作成に当たり、多大な御協力を賜りました関係者の皆様方に、心より感謝申し上げます。

令和7年3月

農林水産省 関東農政局栃木県拠点

目次

CONTENTS

◆ 栃木県内の農業関係高校等の所在図・学科名	4
◆ 栃木県における農業関係高校の区分と学科別学習内容	5
◆ 第34回全国産業教育フェア栃木大会	6
◆ 令和6年度農業高校生の意識調査	8
◆ 栃木県内の農業関係高校の紹介（学科別）	13
◇ 栃木県立宇都宮白楊高等学校	
・ 農業経営科	14
・ 生物工学科	15
・ 食品科学科	16
・ 農業工学科	17
◇ 栃木県立鹿沼南高等学校	
・ 食料生産科	18
・ 環境緑地科	19
◇ 栃木県立小山北桜高等学校	
・ 食料環境科	20
・ 関東農政局栃木県拠点の取材日誌 「水稻品種「愛国3号」田植え」	21
◇ 栃木県立栃木農業高等学校	
・ 植物科学科	22
・ 動物科学科	23
・ 食品科学科	24
・ 環境デザイン科	25
◇ 栃木県立真岡北陵高等学校	
・ 生物生産科	26
・ 農業機械科	27
・ 食品科学科	28
・ 関東農政局栃木県拠点の取材日誌 「学校水田の田植え」	29

◇栃木県立那須拓陽高等学校	
・農業経営科	30
・生物工学科	31
・食品化学科	32
◇栃木県立矢板高等学校	
・農業経営科	33
・関東農政局栃木県拠点の取材日誌	
「花苗植栽」「学校林の間伐研修」	34
◇栃木県立馬頭高等学校	
・普通科選択科目「農業と環境」「野菜」	35
・水産科	36
・関東農政局栃木県拠点の取材日誌	
「ジャガイモ収穫体験交流学習」「白菜収穫・贈呈式」	37
◆PICK UP「宇都宮大学農学部主催 アグリカレッジ」	38
◆栃木県内の農林業関係研修機関及び大学の紹介	39
◇栃木県農業大学校	40
◇栃木県林業大学校	42
◇宇都宮大学 農学部	44
◇帝京大学	
・経済学部 地域経済学科	46
・理工学部 バイオサイエンス学科	47
◆T o p i c s	
1 農高生によるG A P 認証の取得	48
2 日本学校農業クラブ連盟（F F J）の活動	50
3 県内農業高校「食料・農業・農村白書」説明会を開催	51
4 「みどり戦略学生チャレンジ」に挑戦！	52
5 各高校に導入された農業用機械	56
6 各高校におけるスマート農業の実践	59
7 各高校における商品開発	66
◆関東農政局栃木県拠点の取材日誌／栃木県立宇都宮白楊高校	
「酒かすと米粉のマドレーヌの販売・P R活動」	69
◆参考資料／関東農政局の仕事	70
◆最後に	72

栃木県内の農業関係高校等の所在図・学科名



地図上の記号	所在地	学校名	令和7年度 学科名 (定員)
①	宇都宮市	宇都宮白楊高校	農業経営科・生物工学科・食品科学科・農業工学科 (各40名)
②	鹿沼市	鹿沼南高校	食料生産科・環境緑地科 (各40名)
③	小山市	小山北桜高校	食料環境科 (40名)
④	栃木市	栃木農業高校	植物科学科・動物科学科・食品科学科・環境デザイン科 (各40名)
⑤	真岡市	真岡北陵高校	生物生産科・農業機械科・食品科学科 (各40名)
⑥	那須塩原市	那須拓陽高校	農業経営科・生物工学科・食品化学科 (各40名)
⑦	矢板市	矢板高校	農業経営科 (40名)
⑧	那珂川町	馬頭高校	普通科 (40名)・水産科 (25名)

栃木県における農業関係高校の区分と学科別学習内容

(1) 農業関係高校の区分

- ① **総合選択制高校（職業系専門学科と普通科を併置）**：鹿沼南高校
生徒は、関心や進路に応じて、2・3年生で普通教育に関する科目を選択履修することも可能です。
- ② **総合産業高校**：小山北桜高校
1年生は、全ての学科の基礎科目を学習し、産業全体について学びます。
2、3年生では、自分の学科以外の科目を一部選択して学習することができます。
- ③ **総合選択制専門高校**：宇都宮白楊高校 真岡北陵高校 矢板高校
生徒は、関心や進路に応じて、2、3年生で自分の学科以外の科目を選択して学習することができます。
- ④ **職業系専門高校**：栃木農業高校
農業科の4学科より構成されており、各学科の中で、それぞれの専門分野を深く学習することができます。
- ⑤ **普通科・職業系専門学科の併置校**：那須拓陽高校
普通科と農業科、家庭科より構成されています。
専門学科の中では、専門分野を深く学習することができます。

(2) 学科別学習内容

学科名	学習内容
農業経営科（宇都宮白楊／ 那須拓陽／矢板） 食料生産科（鹿沼南） 生物生産科（真岡北陵） 植物科学科（栃木農業）	新しい時代に対応した作物、草花、野菜、果樹、畜産などに関する専門的な知識と技術を学びます。 ※食料生産科には草花の学習、植物科学科には畜産の学習は含まれません。
食料環境科（小山北桜）	作物・野菜・果樹の栽培方法を学ぶ食料生産コースと、草花の栽培方法や造園・ガーデニングを学ぶ環境創生コースに分かれ、食料生産と環境づくりに関する知識と技術を学びます。
動物科学科（栃木農業）	生産物を得るための動物を学ぶ生産動物コースと、人の生活に貢献する社会動物を学ぶ社会動物コースに分かれ、動物の飼育やその利用に関する知識と技術を学びます。
生物工学科（宇都宮白楊／ 那須拓陽）	植物バイオテクノロジー・動物バイオテクノロジーや微生物の利用及び養液栽培等の施設栽培などに関する知識と技術を学びます。
農業工学科（宇都宮白楊）	道路や橋などの土木構造物の設計や施工及び水や土の基本的性質など環境保全に配慮した農業土木工事などに関する知識と技術を学びます。
環境緑地科（鹿沼南）	草花の栽培や装飾、造園やガーデニング、森林環境の保全やキノコの栽培方法などに関する知識と技術を学びます。
環境デザイン科（栃木農業）	地域の自然や産業を取り巻く環境を維持・改善するために、環境や農業土木に関する知識と技術を学びます。
食品化学科（那須拓陽） 食品科学科（宇都宮白楊／ 栃木農業／真岡北陵）	食品の特性と加工・貯蔵・流通に加え、食品の成分分析や衛生検査の方法及び食品に関連する微生物の利用と培養などに関する知識と技術を学びます。
農業機械科（真岡北陵）	各種農業機械の取扱い方法を学ぶと共に、エンジンをはじめ機械各部の構造と整備方法などに関する知識と技術を学びます。